

平成30年 年頭あいさつ

会長 渋谷 彰



明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族共々新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素から当センターの事業推進に多大なるご尽力をいただき、感謝申し上げます。

昨年は、猛暑や大雨など気候変動があった中、7月には当センター設立40周年を無事に迎え、会員の方々と喜びを分かち合うことができました。

センターの将来の目標を定める第2次長期計画も本年3月で終了となりますので、新たに2018年度を初年度とする第3次中期計画を策定し、今後5年間の目標会員数2,000名、事業実績9億

円及び事業方針を定め、将来のあべき姿を見据え歩んでいくこととなります。

さらに、府中市のご支援によりまして、4月には現在の寿町の事務所から府中町の新「ふれあい会館」に移転することとなっております。この新事務所では、市民の方々の利便性を高めるとともに、会員の活動や交流の場として有効活用していかねばなりません。そして、引き続き新規顧客の開拓及び会員の就業機会の拡大、交流事業の充実に努めていく覚悟でございます。

結びに、会員皆様には、センターの活動を通じて社会活動へ参加することにより生きがいを感じていただくとともに、ますますのご健勝とご多幸を祈念し新年のご挨拶とします。



新年のごあいさつ

府中市長 高野 律雄



新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人府中市シルバー人材センターの会員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい平成30年の新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様には日頃より、市政の各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

貴センターにおかれましては、地域の発展のため「自主・自立、共働・共助」の理念に、事業内容の充実に努められ、昨年、設立40周年を迎えられ、設立以来長きにわたり、市民の皆様からの信頼のもと、安定した実績を築いてこられましたことは誠に同慶にたえません。また、昨年9月には、本市と「空家等の適正な管理の推進に関する

協定」を新たに締結し、安全で安心なまちづくりの推進のため、多大なご助力をいただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。

これもひとえに、渋谷会長をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆様が、安定した運営と誠意ある仕事に努めてこられた賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

本市といたしましても、本年は「健康・安全」、「愛着・おもてなし」、「対話・協働」をテーマに、市民の皆様が生きがいを持って、住み慣れた地域で暮らせるよう、高齢者福祉施策をはじめとする、様々な施策の推進に努めるとともに、シルバー人材センターの活動を支援してまいります。どうか皆様におかれましては、健康に十分ご留意をいただき、今後とも、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、公益社団法人府中市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員並びにご家族皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

シルバー人材センターフェア開催

10月18日(水)・19日(木)の両日に開催されました。開催中は高野市長も雨の中、足を運んで下さいましたが、今回の開催については、あいにくの天候不順に加えてル・シーニュ開業によるフォーリスへの入店者数が減少となったこともあり、大変残念な結果となりました。(来客数は、2日間で、約2千名でした。)



初日は、8月の商工まつりで好評であった、ミニバスケットボールを企画していましたが、雨のため数名しか参加できませんでした。(2日目は、雨のため中止しました。) 但し、フォーリス店内の各出展コーナーには、雨にもかかわらず多数のお客様が来場されて、活況を呈していました。

もう一つの目玉である、植木の配布については、会員が総数二百鉢を用意し、両日に分けて来場者の内、ご希望のお客様に配布しました。特に2日目は、雨天にもかかわらずお客様が「緑の命」を引きついでいただき、大型盆栽(4点)を除き、2日間ではほぼ配布を完了しました。

2日間にわたって会場にてお客様の対応に当たって頂いた会員の皆様にお礼申し上げます。

戌年生まれの元気な会員さん



清水源市さん (今年84歳)

現在、昨年7月14日に開店した府中駅南口の「ル・シーニュ」の自転車駐輪場案内業務に就業し、リーダーを務めている清水源市さん。この業務では、1日あたり3人の会員が、午前と午後のそれぞれ4時間半、二交代制で就業しています。内容は駐輪場への案内業務ですが、1階の建物入り口に立つと、多くの方からバス停の場所を訪ねられ

たり、ビルの施設案内を頼まれるとのこと。センターではこれまでに、文化センター管理業務や、ケーズデンキが開店した際の万引き防止の店内見回り業務を経験したそうです。また、スーパーでの荷受け・検品業務や、ラック式駐輪場の管理業務にも携わってこられました。83歳までの間に3回の手術と入院をされたそうですが、就業シフトも作成するなど、頭脳も明晰で元気そのものでした。取材時も寒い日でしたが、元気に頑張って働いておられました。



上垣内正子さん (今年72歳)

現在、中学校の事務補助と、片町文化センター施設管理業務に就業中で多忙な上垣内正子さん。定年退職の後、娘さんの出産と子育ての手伝いが終わった65歳頃に、自宅のポストに届いたシルバー人材センター会員募集のチラシを見て、6年前に入会されました。

趣味は10年ほど続けている朗読だそうで、サークルに入っ

活動されていて、お習字も最近になって再び始めたそうです。女性会員の増員や、就業率・就業先の拡大を検討する「女性活動検討会」の一員としても活動されていて、女性限定の交流会や情報交換を行い、女性会員の皆様のお役に立てればと思っ

常にあることが健康に良いとの信念のもと、旅行も楽しんでるそうです。

シルバーに入り、沢山のひとと交流し、お友達もできたと言っています。

各地域懇談会が開催されました

西府地域懇談会

9月14日(木)西府文化センター講堂にて47名が一堂に会して開催されました。

久保田班長の司会で開会され、芝辻地域委員長・日下地域副委員長の挨拶後、山口副会長からセンターの近況報告がありました。

その後、遠藤講師により、府中のロマン・自然文化財である「西府崖線(ハケ)を語る」と題して講演していただきました。後半は実際のハケを散策しながら解説していただいた。熊野神社古墳



とともに当市の歴史・ロマンを掻き立てたと同時に貴重な自然遺産の存在を改めて認識し、環境保全の重要さを痛感しました。

休憩後会員懇談会に入り、氏名、町名とともに、入会動機、現在業務、抱負等自己紹介のあとセンターへの要望、意見の発表がありました。活発な意見交換で有意義な懇談会でした。

住吉地域懇談会

10月3日(火)住吉文化センターにて、49名の会員が参加して、開催されました。住吉地域では特に会員の懇談や交歓に主眼を置き、名称をふれあい地域懇談会と称しています。

最初にセンターより参加の山口副会長と芝辻理事の挨拶で、センターの実績や課題について、更に主な行事予定やボランティア活動への積極的な参加の要請等が話されました。その後、順番に出席の全会員に一言ずつの発言が有りました。その中では質問や関連の応答等もありました。

次に、事前に配布された「大地

震が起きた時の10の質問」という課題に対し、回答が紹介されました。首都直下型の巨大地震が、今後30年以内に70%の確率で発生するという予測も有り、関心の高いテーマで皆さん興味深く質問等も有りました。

休憩の後、地域包括支援センターの協力で骨密度と血管年齢の測定が希望者を実施され、健康維持に関する指導が有りました。笹川地域委員の閉会の挨拶で終了しました。



是政地域懇談会

秋晴れの10月27日(金) 13時30分からは政文化センター会議室において、松田局長、芝辻地域委員長・日下副委員長及び湯沢次長をお迎えして、開催されました。出席会員数は12名でした。

小林班長の司会で進行され、続いて松田局長からシルバーの最近の会員数や実績の報告、就業の拡大、適正就業、安全就業などの課題等の説明がありました。また、地域奉仕活動・ボランティアへの参加促進も強調され、今後、市民協働まつりへの行事参加など、説明がありました。

小林班長からは是政地域の現状と活動の報告があり、出席会員からは自己紹介、自身の就業状況等が報告されました。就業年数が長い会員からは貴重な経験談が聞けて、成る程と頷く会員がいました。その後、質疑応答、要望や意見交換が活発に行われ、有意義な会となりました。

その後はお楽しみみのフラダンスショーです。場所を大広間に移して、小林班長のご友人の金森さんが指導するフラダンスサークルの方々の発表会を40分見学しまし

た。十名以上の方々が優雅に踊る姿に思わず感銘。特に、五歳のお嬢ちゃんの踊りには、会員から拍手喝采が上がりました。

最後に、芝辻理事より、地域懇談会の参加者が少なかつたので、次回はより多くの会員が参加できるように、今後も仕事が楽しめるように、今後も仕事が楽しめる仲間作りをお願いしたいと要望がありました。

小林班長から、是政地域は第4回目の新年懇親会を2月末に予定していますので、多くの地域会員に参加をお願いしたいとのことでした。

中央地域懇談会

10月31日(火)ふれあい会館第4会議室にて43名の会員が参加して開催されました。

芝辻地域委員長のあいさつに始まり、松田局長からセンターの活動状況について就業拡大やボランティア活動への参加推進、安全就業のための高所での作業や安全運転や自転車保険へ加入の促進などが話されました。

その後会員の懇談は自己紹介と就業の状況とセンターへの要望や意見等を出し合われました。

府中市生涯学習ふちゅうカレッジの出前講座で郷土の森学芸員の花木知子氏から「伝馬制度と宿場の成立」と題した府中の歴史について貴重な講演がありました。



片町地域懇談会

11月1日(水)片町文化センターにて20名の会員が参加して開催されました。

岡正義地域委員の司会により芝辻地域委員長のあいさつの後、松田局長からセンターの活動状況について話され、各地域班長の紹介がありました。

講演では郷土の森博物館学芸員の中村武史氏による「府中と多摩

川の自然誌」について多摩川は有数な良質アユの産地であった歴史について興味深いお話がありました。

その後会員の懇談があり記念撮影をして終わりました。



新町地域懇談会

11月16日(木)新町文化センターで開催。地区会員の約3割にあたる65名が参加されました。

高橋地域委員の司会で12名の地域班長の紹介ではじまり、渋谷会長から会員数や売上報告と来期及び中長期計画の展望、芝辻理事からボランティア清掃の感謝の意や本年行事のお話がありました。

事務局の湯沢次長、研修で見えた八王子シルバー人材センターの

野母氏の紹介後、中野班長からボランティア清掃の現状と今後の課題の報告と続きました。

会員の提言要望では、来年4月の事務所移転や、会員の交流の場を増やす、シルバー保険の適用範囲等の意見が交わされました。

「けやきツズ就業」の馬場会員から就業内容のお話があり、シルバー業務の一端が理解出来ました。

第2部は府中カレッジ出前講座と称しふるさと文化財課・郷土資料担当の和田信行氏から「国府と宿場の街・府中」をプロジェクトを使い図や写真で解説され、日頃わが町府中を勉強する機会も少なく楽しい講座でした。



第3回府中市民協働まつり

府中市では11月を市民協働推進月間として、市内で活動している様々な団体や全ての人たちが、地域の課題解決のために、連携・協力して「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向けての、まちづくり活動の定着を進めています。

今年(11月25日(土)と26日(日))にル・シーニュの5・6階の市民活動センターのプラッツを会場として、「第3回府中市民協働まつり」が開催されました。シルバー人材センターも出展団体として参加し、広報コーナーと小物班の展示即売コーナーで、ご来場のお客様に対応しました。

初日の25日は参加団体が早朝から準備などで忙しく動いていました。開始時間の10時の15分前に開会式も行われ、関係者や参加団体の挨拶がありました。ご来場の多くの家族連れや様々のグループは、展示や説明やイベントコーナーや喫茶コーナーなどを、お好みにより巡回されました。

我々シルバー人材センターの



コーナーでは新規入会についての説明や、お手伝いサービスの具体的な内容の説明をしました。小物班のコーナーでは並べられた手作りの品物を手に取り、気に入った品物をお買い上げ頂きました。心配された天気は二日間ともに良く、お客様は新しい建物(ル・シーニュ)内の会場を回り、関心のあつたコーナーに足を止めて楽しい一時を過ごして頂きました。

働く会員の職場訪問 小物班

今回の職場訪問は、女性会員が手芸品を作って楽しむ職群班として活動し、商まつりやシルバーフェア等のイベントに小物を販売している小物班を訪問しました。会を主宰しておられる山口副会長からお話を伺いました。

当班は約10年前に立ち上げ(第一期)、途中の一時期活動を停止しましたが、第一期のメンバーが活動停止を惜しみ、平成29年4月に新たに参加したメンバーと16名で再始動をしてシルバーフェアに出店できるようになりました。

主な作品は、アクリルたわし、お手玉の他、つるし雛をモチーフにしたクリスマス飾り、正月飾り等を作り、市民協働まつりに出展し好評を得ております。現在では、数十種類の作品レパートリーがあります。各フェアへの出展での売上は、事務費を除き、会員に還元されていますが、材料費は、各会員が負担しておりますので、コストパフォーマンスは、さほど良いとは言えません。しかし、当



班の目的は、あくまでも会員同士が和気あいあいと、色々な技術を共有して、製品作りに生かしてゆく事で、健康で、楽しく作業できる環境をみんなで創っています。今後の抱負は、季節や、時節に合った物を研究し、作成することです。その為に創意工夫し、アイデアを考える等、更に手先を使うことで脳の活性化がはかれるものと思っています。

日帰りバス旅行 日の出町ごみ処分場

10月16日(月)に会員就業・交流事業検討会主催(理事会共催)の「日帰り旅行」が開催されました。今年の日帰り旅行は、府中市から出たごみが最終的にどのような処分されているかを知るユニークなバスツアーです。府中市が市民への啓蒙活動の一環として、バスを提供し、ごみの最終処分場である、日の出町まで送り迎えのサービスです。募集定員は45名と少ないため、募集開始まもなく「定員」になった企画です。

大國魂神社交番北側から9時出発。10時20分頃、日の出町にある「東京多摩広域資源循環組合二ツ塚処分場」に到着。この組合は、府中市を始め八王子、立川、調布、多摩市など多摩地域の25市1町で構成された事業組合で、400万人の一般廃棄物の最終処分が目的です。

広報担当の小岸直樹主事が、案内をしてくださいました。府中市などから出た「燃やすごみ」は各自治体で燃やした結果、燃えカスとしての「灰」が残り、それを処

分しなければなりません。当初は、その灰をここに持ち込み、埋めていました。しかし限界になり、新しい方法として「エコセメント事業」が平成18年7月から本格稼働しました。これにより、燃えカスの灰は、100%セメントの材料として使用されることになり、現在は灰の埋め立てはなくなつたそうです。1350℃以上の高温でエコセメントを製造しています。全国で稼働中のエコセメント生産施設は、現在ここだけのことです。

施設見学後は、あきる野市にある「黒茶屋」で懐石料理の昼食です。おいしいものをたくさん食べたのち、道の駅(八王子・滝山)で買物。予定通り午後4時頃府中に着き、解散しました。



会員さんからの投稿



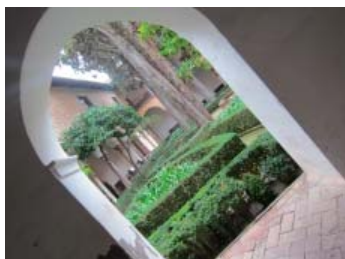
「収穫の秋！八ヶ岳に若人集う！」
池岡道範さん：写真



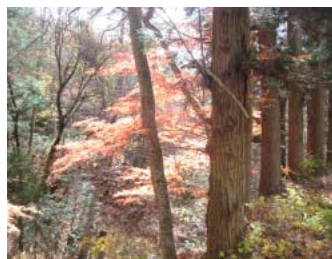
「霊松寺山門」
田嶋 淳さん：写真



「渓谷の秋」
田丸博己さん：写真



「アルハンブラ宮殿の庭園、スペイン」
岡本悦郎さん：写真



「霊松寺の秋」
鏡 陽次さん：写真



「山寺の秋」
畑垣雄二さん：写真

●毎号会員の皆様からの投稿をお待ちしております。下記Eメールアドレスまたは事務局まで奮ってご応募ください。
fsc@fsc.or.jp

是政地域ボランティア清掃



本年度第5回目のボランティア清掃が、11月15日(水)午前9時から約1時間、是政文化センター前庭で行われました。参加会員は男性会員のみの16名でした。是政・小柳町地域の会員さんは日頃からお世話になる是政文化センターが馴染みの施設です。29年度は4月、5月、8月、9月、11月の中下旬にボランティア清掃を計画し、地域奉仕活動として前庭の草取り、清掃を行ってきました。



小林班長から「いつも12〜13人位ですが今回は今年最後で16人が集まりました。皆さん和気あいあいとして手伝ってくれます。8月、9月は暑い上に蚊が多くて大変でした」と苦労話を聞きました。「今後も新会員を招き入れ、積極的に活動したいね。女性会員も参加してくれると良いのですが」などと会員の声が上がりました。

お知らせ

清掃作業希望者募集中!

アパートやマンションの共有部分、家事手伝いの清掃作業などの就業会員を募集しています。

現在就業中の方でも、空いた曜日に就業できる場合があります。まずはご連絡ください。

一步を踏み出し、新たな就業にチャレンジ!!
センター事務局 担当 齋藤・佐藤

あなたの作品を募集します! 第7回ふれあい作品展

受付期間:平成30年1月10日(水)~1月19日(金)※当日消印有効
※受付期間中でも募集点数80点になり次第締め切ります。
募集点数:80点(1人1点・先着順)※出展料は無料です。
申込み: 出展申込書に必要事項を記入の上、「ふれあい作品展」係に提出。郵送でも可。
※申込書はシルバー人材センター窓口にてお渡しします。
作品内容:洋画(油彩・水彩等)、日本画、版画、書、写真、オブジェ、人形、彫刻等。
※生花不可
開催日 平成30年2月16日(金)~2月18日(日)
会場 府中グリーンプラザ5階 展示ホール
主催:公益社団法人府中市シルバー人材センター
後援:公益財団法人府中文化振興財団

平成29年度主な行事予定

- 実施月(平成30年) 行事名
- 1月 役員班長合同懇談会(18日)
 - 2月 第8回ふれあい作品展(16日~18日)
 - 3月 第2回安全推進大会(27日)

計報

永坂貞良(南町) 金子一夫(白糸台)
池野武良(日新町) 寺田四朗(北山町)

編集後記

平成30年を迎えてセンターの場所「ふれあい会館」が4月から府中町の旧保健センター1分館跡に移転します。

桜通りに面した場所に移転早々桜の開花時期での新たな2018年度が始まります。

渋谷会長と高野市長からそれぞれ年頭のあいさつが掲載されました。センターも40周年を無事に迎え第3次中期計画が策定され4月から今後の目標に歩んでゆくこととなります。

秋に各地域の懇談会が開催され、シルバーフェアでは昨年度からの新たな企画の植木の配布などで多数の来場者もありました。

これからもより多くの情報や企画に合わせてお伝えして参ります。

(広報委員会 徳田)

